

第101回(令和4年度)全国高校サッカー選手権三重県大会要項(案)

- 1 主催 三重県高等学校体育連盟、(一社)三重県サッカー協会、三重テレビ放送株式会社
- 2 主管 三重県高等学校体育連盟サッカー専門部
- 3 期日 1回戦 2022年10月10日(月祝) 2回戦 2022年10月15日(土)
3回戦 2022年10月22日(土) 準々決勝 2022年10月29日(土)
準決勝 2022年11月 3日(木祝) 決勝 2022年11月 6日(日)
予備日 2022年10月16日(日)、10月23日(日)、10月30日(日)
- 4 会場 1回戦～3回戦 NTN総合運動公園サッカー場、四日市市中央フットボール場、
三重交通Gスポーツの杜鈴鹿、四日市中央工業高校
伊勢フットボールヴィレッジ、松阪市総合運動公園、メイハンフィールド 等
準々決勝 伊勢フットボールヴィレッジ
準決勝 四日市市中央陸上競技場
決勝 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿
- 5 参加資格
 - ①2022年度日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
 - ②2022年4月2日以降に当該学校に在学している者で、平成15年4月2日以降に生まれた者(4月2日を起算日として、19歳未満の者とする)。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
 - ③チーム編成は、全日制・定時制の混成を認めない。
 - ④ア) 転校後6か月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、都道府県高体連会長の許可があればこの限りではない。
イ) 高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6か月間は出場できない。
ウ) 転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、規定ウの適用は当該年度内に限るものとする。
 - ⑤選手は、当該学校長の参加承諾を必要とする。
- 6 競技方法
 - ①トーナメント方式により、優勝・準優勝を決定する。3位決定戦は行わない。
 - ②試合時間は80分とし、勝敗が決しない場合は、20分間の延長を行う。尚、決しない場合は、PK方式によって次回戦に進出するチームを決定する。
- 7 競技規定
 - ①2022-2023年日本サッカー協会制定の『競技規則』による。
 - ②各試合ごとの登録は20名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員の中から、5名までの交代が認められる。
- 8 懲罰
 - ①本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
 - ②規律委員会は、2種委員長、2種副委員長、2種審判委員長、2種技術委員長で構成する。
 - ③本大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に登録することができない。
 - ④本大会中において、退場を命ぜられた者は、次の1試合は登録することができない。
それ以降の処置については、大会規律委員会において処置を決定する。

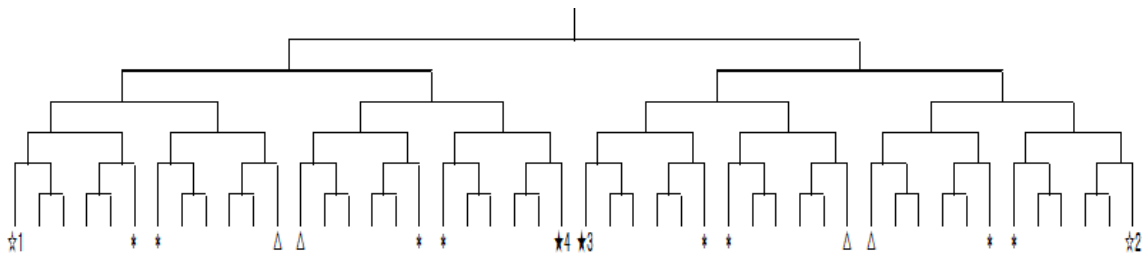
9 組合せ(シード)について

第1シード:リーグ最上位校と県総体優勝校(1校になる場合がある)

第2シード:リーグ最上位の次に位置する順位に準じた2校(3校になる場合がある)

第3シード:県1部リーグ○位～●位の4校(第1・第2シードの数によって○位～●位が変動する)

第4シード→予備抽選を行う。



- ① ☆1・☆2にはリーグ最上位校と県総体優勝校が抽選によって入る。(リーグ最上位校と県総体優勝校が同一の場合は☆1のみとする)
- ② ★3・★4にはリーグ最上位校を除き、リーグの順位によって★3、★4と順に入る。(リーグ最上位校と県総体優勝校が同一の場合はそれ以下のチームが結果の順で☆2、★3、★4に入る)
- ③ △印には県1部リーグの○位から●位のチームが抽選によって入る。(○位～●位は☆1～★4の抽選内容によって変動する)
- ④ 県総体2位・3位(2校)に入った場合は、県総体の結果の上位チームが県1部リーグ●位の入った△印と同一のブロックの*の位置に入る。以下、同様とする。
(例)①～③のシードに該当しない1校が2位の場合→県1部リーグ●位と同一ブロックの*の位置に入る。
①～③のシードに該当しない2校が3位の場合→抽選で、県リーグ●位または○位～○位と同一ブロックの*の位置に順に入る。

10 参加申込み

- ①参加不参加連絡用紙:所定の申込用紙にて、申し込むこと。
※切 2022年7月 7日(木)必着 申込先 各地区委員
- ②大会参加申込み:所定の申込用紙にて、申し込むこと。
※切 2022年7月21日(木)必着 申込先 各地区委員

11 表彰

優勝以下、第3位チームまでを表彰する。

12 選手の用具

- ①本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ②正・副の2色については明確に異なる色(ユニフォームシャツは黒色系統は不可)とする。
- ③主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ④前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑤ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑥アンダーシャツの色はユニフォームシャツに使用されている色のものを着用する。
ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑦アンダーショーツおよびタイツの色はユニフォームショーツに使用されている色のものを着用する。
ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

13 その他

- ①大会中の傷害等の応急処置は本部で行うが、以後の責任は負わない。
- ②雨天決行とする。(ただし、朝6:00の段階で暴風警報・暴風雪警報・特別警報・地震警戒宣言が発令されている場合、競技は中止とする。その後警報・警戒宣言が解除された場合、大会役員、引率職員および関係者と開催について協議する。)
- ③優勝校は第101回全国高校サッカー選手権大会の出場権を獲得する。
- ④副審は可能な限り審判服を着用すること。(最低限黒色のピブスは着用する)